

資料2

脱炭素・GREEN×EXPO推進・
みどり環境・資源循環委員会
令和7年6月2日
みどり環境局

三ツ沢公園の再整備について

1 趣旨

- ・三ツ沢公園については、球技場は築60年を超え、老朽化が進むとともに、観客席に屋根が無くJリーグのスタジアム基準を満たしていないなどの課題があります。また、その他公園施設についても全体的に老朽化が進んでいます。
- ・そこで、令和4年12月に「三ツ沢公園再整備基本構想(案)」(以下、「基本構想案」という。)を公表しました。
- ・その後の検討をふまえ、この「基本構想案」を見直します。

2 これまでの経過

R4年6月	三ツ沢公園の再整備に向けた基本的な考え方(案)公表
R4年8月～9月	市民意見募集
R4年12月	三ツ沢公園再整備基本構想(案) 公表
R5年11月～12月	三ツ沢公園の再整備に向けたサウンディング型市場調査

3 基本構想案の見直しの内容

- ・現在の陸上競技場の位置に新球技場を配置する内容で、「基本構想案」を見直します。
- ・陸上競技については、深谷通信所跡地公園に新たに整備する陸上競技場を活用し、競技環境を整えます。



4 基本構想案を見直す理由①

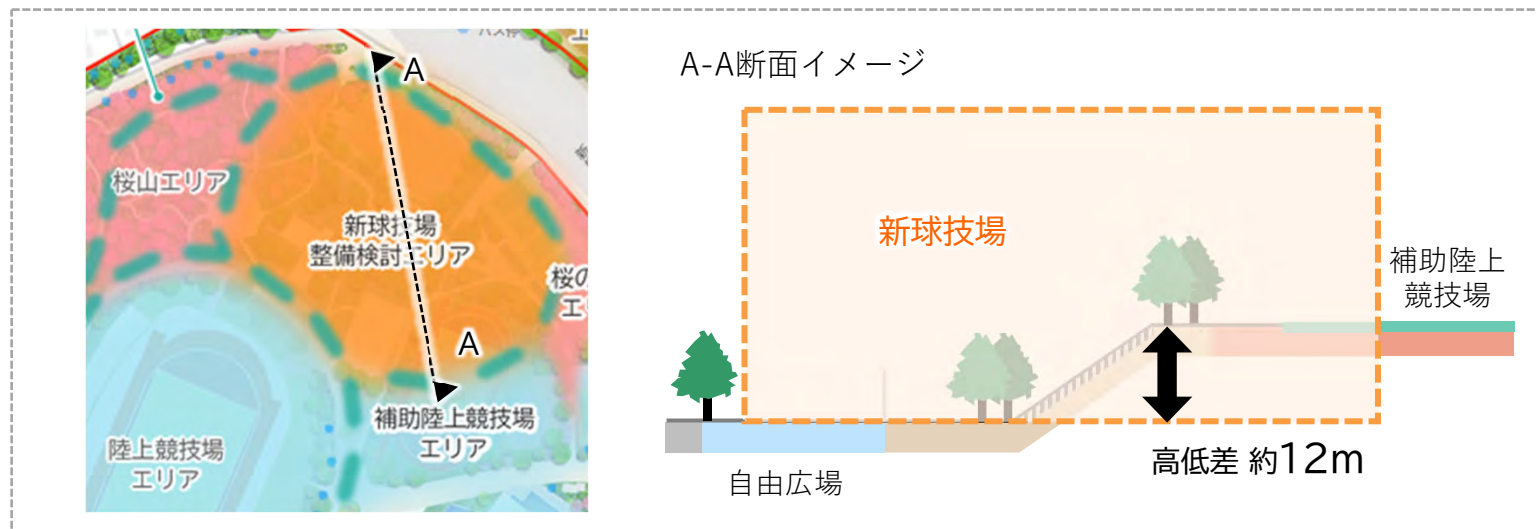
基本構想案策定時は、三ツ沢公園内に陸上競技場及び新球技場を配置する前提で検討を進めましたが、深谷通信所跡地公園において、都市計画手続きがスタートするなどの進捗があったことで、広域的な視点による施設配置の検討が可能となりました。

三ツ沢公園陸上競技場の位置に新球技場を整備し、深谷通信所跡地公園で整備を検討していた陸上競技場を第2種公認陸上競技場として整備することで、両施設の競技環境の充実や公園の魅力向上を図ることができます。

4 基本構想案を見直す理由②

新球技場整備検討エリアは高低差があり、造成工事が必要でしたが、施設配置を見直すことにより、資材費や工事費が高騰している中、**造成工事費の圧縮が可能**となります。

【基本構想案の配置とした場合の造成工事】



5 今後の進め方

- ・今後、新たに整備する球技場の規模や内容を含め、公園リニューアルの計画を検討し、三ツ沢公園再整備基本計画としてまとめます。
- ・球技場建設の事業手法としては、民間企業のノウハウや資金を活用でき、本市負担の平準化が見込まれるPFIを基本に検討を進めていきます。